

スポーツ施設整備修繕計画（案）

1. スポーツ施設整備・修繕の方向性

当市のスポーツ施設は東日本大震災、震災復興による施設の新設、修繕など環境が大きく変わりましたが、現在では、行政サービスのデジタル化により体育予約システムを利用した施設予約が可能となるなど、施設がより身近で利用し易い環境となっております。施設整備においては、将来の少子高齢化や競技人口の減少等を勘案し、財政健全化に向けた釜石市公共施設等総合管理計画（R6.11月改訂）に基づき、老朽化が進む既存施設の修繕や新規施設の整備にかかる財源確保や維持管理の課題と併せて、施設利用者の安心安全と快適な利用環境の提供のため、施設の利用状況や運営コスト、損傷などによる危険度等により優先順位と実施年度を検討してまいります。

2. 修繕等を要するスポーツ施設の状況

優先順位	施設名	整備・修繕概要	緊急度
1	釜石市球技場	供用開始から12年が経過し、経年劣化により人工芝の状態が悪化しており、今年度サッカーピッチを改修。ラグビーピッチも同様に改修を要する状態。	高
2	市営プール	供用から55年が経過し、これまでも修繕を実施してきたが、老朽化による屋内25mプール水槽の本体、屋上防水改修、窓ガラス交換、照明設備のLED化、暖房用パネルヒーターの取替え、トイレのウォシュレット化などを含む大規模な修繕を要する状態。	高
3	平田公園野球場、 釜石市球技場	高圧水銀灯の製造・輸出入の禁止（R9年末）と電気料金低廉化のため、ナイター照明設備のLED化を要する。	中
4	釜石鶴住居復興 スタジアム	竣工から7年が経過し、天然芝の表面に腐葉土が堆積し滑りやすく、また部分的に水はけが悪くなり、芝生の病気枯れの状態があり、表層を削り取る張替え改善を要する。	中
5	釜石市民弓道場	平成22年の供用開始以降、抜本的な修繕は実施しておらず、矢道、安土、照明のLED化などを要する。	中

緊急度	高	スポーツ施設の機能が著しく悪化しており、ケガや事故などのリスクが高い状態。その利用において十分な注意が必要と考えられる。
	中	スポーツ施設の一部の機能において改善等を要する状態。その利用において注意が必要。
	低	スポーツ施設の機能として異常がない、又は軽微な改善を要する状態で、通常の利用に支障がない。

3.その他スポーツ施設の状況

釜石市民体育館	供与開始から5年経過し、冷暖房等の空調完備、駐車場も広く三陸道のインターに近いなど利便性も高いことから利用頻度が高い施設。経年と利用状況に比例した修繕を要しており、随時、修繕を行い環境整備に努めている。
平田公園野球場クラブハウス	照明設備のLED化と大会議室へのエアコン設置。
釜石市民交流センター体育館	現在において修繕は要しないが、施設の老朽化に伴う修繕は随時対応を要するもの。
平田公園多目的グラウンド	都市公園としての整備と併せて維持管理等の見直しを要する。
昭和園クラブハウス	昭和園球場のクラブハウスとして供用開始したが、現在では体育協会の事務所、交通安全協会の事務所が常設されるほか、会議室の集会所的機能を果たしている状況。スポーツ施設として体を成しておらず、今後の適正な施設管理の見直しを要する。
釜石市中妻体育館	中妻小学校と八雲小学校の統合と釜石中学校の建設を背景とした地域市民向けのスポーツ施設として利用されているが、平日の夜間及び土日のみが一般利用できる状況にあり、今後の管理運営を含め見直すもの。
旧大松小学校体育館	大規模修繕等を実施しないものとして地域に開放しており、光熱水費については市で負担している。施設の老朽化による危険度と併せて、今後の施設利用の検討を要する。
唐丹グラウンド	無償で利用できる施設として野球競技などスポーツ少年団を主に利用されており、電気代、草刈りやトイレの汲み取りに要する費用を市で負担している。
桜木町多目的広場	グラウンドゴルフやソフトボールなど広く地域住民に利用されている。現在は弓道場と併せて指定管理により利用調整などが行われており、緊急を要する修繕はない。
【新規施設】	復興事業等で廃止を余儀なくされた施設の計画的な整備を検討するものだが、既存施設の修繕を優先とする。 対象施設：テニスコート、陸上競技場

※指定管理施設においては、その指定管理料において修繕費を予算化しており、軽微な修繕はその範囲内にて修繕するもの。